

起立性調節障害

(創健会)企画部

12月1月号



現在、全国に12万人の不登校児童・生徒が存在しているといわれています。

そのなかの約5%が「起立性調節障害(OD)」の症状が見られます。

「起立性調節障害(OD)」と診断された児童・生徒の4割が不登校となっています。

潜在的にさらに多くのお子さんが「起立性調節障害(OD)」ではないか

と思われます。

「起立性調節障害(OD)」は『怠け』でも『さぼり』でもありません。

気の持ちようや気合いなどで回復するものではありません。

OD は、からだの病気。

親や学校など周囲の人たちの理解が必要です。

思春期の低血圧・起床時の頭痛・めまい・吐き気等

一日の中の好不調の波が大きく、

自立神経の働きの乱れなのに、うつ病と誤診されやすく、

お子さんもお家族も苦しんでみえます。

しかしあきらめないで下さい

治療に時間がかかっても、治る病気です。

ぜひ当院にご相談下さい。

参考資料 : 日経11月29日 & ピアネット ALICE